

(仮訳)

日本国の経済産業大臣とザンビア共和国鉱山・鉱物開発大臣との間での
鉱業分野における協力に関する共同声明

2023年8月11日、西村康稔 経済産業大臣とポール C. カブスウェ ザンビア共和国鉱山・鉱物開発大臣が、ザンビア共和国ルサカで会談し、銅、ニッケル、コバルトを中心とした鉱業分野に関する二国間協力について協議した。

両大臣は、二国間会談に加え、日本企業幹部及びザンビア政府関係者や専門家が出席する「日ザンビア鉱業投資ラウンドテーブル」において、開会挨拶を行った。

両大臣は、鉱業分野における二国間協力を拡大するために、以下の見解の重要性を確認した。

1. 特定国への過度な依存を避けつつ、エネルギー転換に不可欠な重要鉱物の強靱なサプライチェーンを確保すること。
2. より高いESG基準を適用し、重要鉱物のオープンで透明性の高い、ルール・市場ベースの取引にコミットし、重要鉱物に関する市場歪曲的措置や独占的政策に反対することで、責任ある強靱な重要鉱物サプライチェーンを構築すること。
3. 情報共有、相互訪問、技術協力を含む段階的アプローチを通じて、相互に有益な具体的プロジェクトにつなげていくこと。
4. 採掘プロジェクトそのものだけでなく、そこに必要な人材、インフラ、サプライチェーンの開発に協力すること。

これらの見解に基づき、両大臣は、(独)エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の知見を活用し、我が国が開発した最先端の人工衛星搭載の高性能センサーであるHISUI等を活用した衛星画像解析をザンビア全土を対象として実施することで合意し、2023年8月11日にザンビア共和国鉱山・鉱物開発省とJOGMECとの間での覚書の締結を歓迎した。

また、両大臣は、二国間協力を深めるための次のステップとして、ザンビアの鉱業投資セミナーについて1年以内を目途に日本で開催することに合意した。西村大臣は、カブスウェ大臣を日本に招待し、前向きに検討するとの回答を得た。

2023年8月11日、ルサカにおいてお互いに英語で署名した。

この共同声明は、法的拘束力のある義務を生じさせるものではなく、いかなる権利も付与

するものではない。

日本国経済産業省

西村康稔
経済産業大臣

ザンビア共和国鉱山・鉱物開発省

ポール C. カブスウェ
ザンビア共和国鉱山・鉱物開発大臣